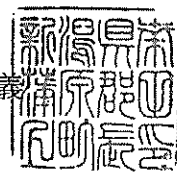


FNO 8 1 0
平成19年5月8日

国土交通省 道路局長 様

新潟県南蒲原郡田上町長 佐藤 邦 義



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について

このことについて、別紙の通り提出いたします。

記

1 中期計画に関する意見 3編

【重点化を進める上で特に優先度の高い政策】

経済的な効果のみを追求するのではなく、住民の幅広い意見を道路整備に反映させる仕組みをつくり、地域の実態に即した道路整備を進め地域間格差が出ない政策を行っていくべきである。

事業箇所を選定や優先度を検証し、より効果的な道路整備を行い、早期に効果が発揮できる整備を進めていくべきである。

【効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと】

道路関連予算が減少するなかで、既存施設を有効活用するなど、整備コストの抑制を図るべきである。また、建設コストの抑制を目指し、道路構造規格の弾力的運用などについても検討を進めるべきである。

道路整備の必要性や効果、スケジュールなど情報をわかりやすい形で広く積極的に公開し、地域のコンセンサスに基づく道路整備を進めるべきである。

【その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見】

一般財源化を前提とした道路特定財源の見直しは、道路整備の現実からすれば都市部と地方の格差を益々増大させる恐れがあると思われる。地方のおかれた現在の道路整備の実態からすれば、道路特定財源を柱とした道路整備の財源は、これを堅持しより一層充実・強化していくべきである。